



平成 27 年 4 月 3 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 サ ダ マ ツ  
 代表者の役職氏名 代表取締役 貞松 隆 弥  
 社 長  
 ( J A S D A Q ・ コード 2 7 3 6 )  
 取 締 役  
 問 い 合 わ せ 先 経 営 戦 略 室 長 磯 野 紘 一  
 電 話 番 号 0 3 - 5 7 6 8 - 9 9 5 7

## 平成 27 年 8 月 期 第 2 四 半 期 連 結 業 績 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 10 月 10 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

### ●業績予想の修正について

平成 27 年 8 月 期 第 2 四 半 期 ( 累 計 ) 連 結 業 績 予 想 数 値 の 修 正 ( 平 成 26 年 9 月 1 日 ~ 平 成 27 年 2 月 28 日 )

	売上高	営業利益	経常利益	四半期利益	1 株 当 り 四 半 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,450	130	100	30	2.67
今回発表予想(B)	4,516	△163	△160	△116	△10.38
増減額 (B-A)	66	△293	△260	△146	
増減率(%)	1.5	—	—	—	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 8 月 期 第 2 四 半 期)	4,091	113	97	41	3.67

### 修正の理由

#### (1) 第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間

当第 2 四半期累計期間 (9 月 ~ 2 月) の連結売上高につきましては、昨年 3 月の消費税率引き上げに伴う消費環境の冷え込みにより宝飾業界を取り巻く状況が厳しさを増す中、ブランド力向上への継続投資に加え、積極的な販促施策を実施した結果、売上高は予想を上回る見込みとなりました。特に主力商品である“Wish upon a star”の売上が前年比 206.5%と好調に推移し、売上高が前年比 110.4%まで拡大するなど増収に寄与しました。

一方、利益面につきましては、売上総利益が前年比 109.4%と増加したものの、低迷の続く郊外型ショッピングセンターを中心に売上改善を目的として展開したセール施策が全体の粗利率を押し下げたため、想定値を下回る見込みとなりました。また、国内での新規出店や店舗改装に伴う設備投資の拡大に加え、12 月商戦に向けて首都圏を中心に放映した TVCM や各種イベントなどの積極的なプロモーション費用の投下が影響し、販売費及び一般管理費は前年比 120.9%と当初の計画より増加する見込みと

なりました。特に“Wish upon a star”と世界的ファッションディレクター「ニコラ・フォルミケッティ氏」とのコラボレーション企画をはじめ有望なコラボレーション依頼が多く舞い込んだことから、中長期のブランド力向上の好機と捉え費用を積み増して対応しましたが、全体コストの上振れ要因となり当第2四半期での利益貢献は限定的となりました。

その結果、海外子会社の業績は堅調に推移した一方で、親会社サダマツにおいて費用拡大に伴う利益圧迫要因が影響し、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに予想を下回る見込みとなりました。

## (2) 通期

今後の経営環境におきましては、円安・株高基調を追い風とする一部大企業では企業収益の改善から賃金のベースアップが実施されるなど景気回復への期待感がみられるものの、本格的な個人消費の回復には至っておらず、依然として先行き不透明な状況が予想されます。

このような外部環境の中、当第3四半期以降の当社グループは、当第2四半期に実施したプロモーション施策の効果検証を踏まえ、これまでの投資効果獲得による利益改善に取り組んでまいります。当第2四半期累計期間では営業損失を計上したものの、以下のプレスリリースにて発表いたしましたとおり、3月4日 OPEN の伊勢丹新宿店をはじめとする新ブランド「フェスタリア サンクチュアリ」の立ち上げや有力百貨店での増床実現、織研新聞社「第35回百貨店バイヤーズ賞プラス」の受賞など“Wish upon a star”を基軸としたこれまでの成長戦略投資の成果が着実に現れており、当第3四半期以降の利益改善に寄与するものと考えております。直近においても、当第2四半期段階で当期におけるプロモーション投資が一巡しているため、販売費が低減傾向にあるにもかかわらず、先行投資の成果が下支えとなり、売上高は順調に推移しております。引き続き、新規店舗の活性化や増床による店舗効率の向上などの投資効果獲得を加速させることで売上高利益率の改善を目指します。

収益拡大への後押しが期待されるインバウンド事業に関しましては、以下のプレスリリースにて発表いたしましたとおり中国人観光客への O2O 展開に向けたウィ・ジャパン社との業務提携や誘致プロモーション強化に向けて中国で絶大な人気を誇る俳優の古川雄輝さんとアンバサダー契約を締結するなどインフラ整備を進めており、本格展開となる当第3四半期後半以降での業績寄与を見込んでおります。

以上の理由により現時点における通期の連結業績予想に関しましては、平成26年10月10日付「平成26年8月期決算短信」にて発表した内容に変更はございません。今後、消費環境の動向と第3四半期の結果を勘案し、通期業績予想の修正が見込まれる場合は速やかにお知らせいたします。

### <主なプレスリリース一覧>

- |                                   |                    |
|-----------------------------------|--------------------|
| ・「中国からの観光客向け O2O の展開」に関するお知らせ     | 平成 27 年 1 月 29 日発表 |
| ・新ブランド「フェスタリア サンクチュアリ」デビューのお知らせ   | 平成 27 年 2 月 25 日発表 |
| ・織研新聞社「第 35 回百貨店バイヤーズ賞」受賞に関するお知らせ | 平成 27 年 2 月 26 日発表 |
| ・俳優 古川雄輝さんとのアンバサダー契約締結に関するお知らせ    | 平成 27 年 3 月 16 日発表 |

以上